

# 荒川新聞

任長	任部	掃合部
委員	宣伝	清組支
行集	育	京働川
東労	荒	
2011年6月15日 第5号		

## 全労働者の団結で

## 生活と権利を守ろう！

第82回日比谷メーデーが開催されました。メーデーは、全世界の労働者が生活と権利をかけて闘ってきた「統一行動日」であります。



集会を終え、デモに出発する直前の第二地連隊列

**メーデーに参加**  
増田 昌夫

私は今年から地連の常任になり、初めて実行委員として日比谷メーデーに参加しました。当日はカンパ要員として、集会にはあまり参加できませんでした。裏方としてカンパ要員の任務を遂行しました。今年は東北地方で大地震が発生し、被災地への復興を一刻も早く望む集会に結集した労働者が、多くのカンパ協力をして下さいました。私たちの労働条件も、

今年3月11日に東北関東沖を震源とする大地震と大津波が発生しました。多くの人命が失われ壊滅的な被害をうけました。今回のメーデーでは、自粛傾向の中でも、被災された人々への激励と支

# 第5号

援を、日比谷に結集した多くの労働者が一層の団結で取り組みました。また、私たちの身分労働条件の向上、生活と権利を守り抜くために、大変意義のある集会だったと思います。私は、5月1日の日比

年々厳しい状況にありませぬ。メーデーを通じて全労働者が主役の舞台で、民主主義と平和を願う気持ちがとても強く感じられました。職場闘争の原点を実感しました。

**集会の意義 改めて実感**  
豊田 浩史

5月1日(日)第82回日比谷メーデーが日比谷野外音楽堂で開催された。私自身は昨年もメーデー

谷メーデーには毎年参加をしていますが、今年は日曜日ということもあり、多くの労働者が集まりました。日本の景気低迷が続いている中で「経済が深刻な状況に落ち込んでいる状況」「リストラ・派遣労働者切りが横行している実態」の中で、日本の展望を私たち労働者が連帯して作り上げていかなければならないことの重要性を改めて実感しました。

## 第82回 日比谷メーデー

3月11日の東日本大震災は本当に凄かった。私はたまたま日比谷公園の近くを歩いていていたんですが、周りのビルがグニャグニャ揺れて、立っているのも厳しい状態で、「こりや危険だな」と直ぐに公園内に避難しました。しかし、その後も揺れが続き、周りのビルから避難して来る人で公園が一杯になってしまった。公園から出られなくなるのではと、私は不安になり、地下鉄は無理だろうとJRの方へ向かいました。道は避難する人たちが溢れ、まさに映画を見ているかのようでした。(続く)

に参加をし、今年の厳しい経済状況による悲壮感漂う話を聞き、メーデーとは全労働者が生活と権利をかけて闘う「統一行動日」である事を認識した。

集会終了後、デモ行進を行い、当日はとても風が強く、地連旗・支部旗

が例年以上に銀座の街中をなびかせた。心地良い緊張感の中で、通り行く人々の横を力強いシュプレヒコールとともに私たち労働者の権利を強く訴えた。闘うメーデーの歴史と伝統を守る事が日本の未来を善くしていく近道だ。

